

夢見るアスリート★ Vol. 2

このコーナーは日本のトップレベルで奮闘する稚内市出身のアスリートを紹介するコーナーです。第2回は関西学生バスケットボール連盟1部に所属する大阪学院大学に進学した尾崎虹太郎さん、阿部陽斗さん、東北大学バスケットボール連盟1部に所属する仙台大学に進学した西角柊威さんの3人です。



尾崎虹太郎(大阪学院大学1年)

稚内アルピナミニバス少年団、稚内東中学校、北陸学院高校を経て、昨年の春に大阪学院大学バスケットボール部に入部。ポジションはセンター。

「プロバスケットボール選手になることが夢」

- Q まず入部してみて率直な感想をお聞かせください。
- A とても良い環境でバスケットボールをさせていただいております。こんな環境の中でバスケットが出来ていることに幸せを感じています。
- Q この1年を振り返ってみていかがでしたか？
- A プロバスケットボール選手を目指して大学に進学したのですが、1つ上のステージ(大学バスケット)を目の当りにして、今のままではプロにはほど遠い事を実感しています。今年からはもっと厳しく自分に向き合ってチャレンジしていきます。
- Q バスケットボールで自身が意識されている事はどのようなことですか？
- A バスケットボールはコミュニケーションがとても大切なスポーツです。必要なコミュニケーション能力を高めるため、練習や試合では常にみんながポジティブになれる声かけを意識するように取り組んでいます。
- Q 同じ稚内出身の阿部さんも学生コーチとして入部しましたが、尾崎さんにとって阿部さんはどのような存在ですか？
- A 小学1年生からずっと一緒にバスケットをしてきた大親友です。練習できつく辛いときもいつも近くにいる、励ましてくれる存在です。一緒にいると安心出来る心強い仲間の1人です。
- Q 今後の抱負をお聞かせください。
- A プロバスケットボール選手になることが夢であり目標なので、今まで以上に努力して夢に向かって頑張ります。
- Q 最後に稚内の子ども達へメッセージをお願いします。
- A 一人一人色々な目標があると思います。まだ目標が見つからない人もいると思います。でも慌てずに小さなことでも良いのでまずは目標を見つけてください。その目標に向かって諦めずに進んで行けば、必ず達成出来ると自分は信じています。どんな事でも良いのでチャレンジする気持ちを忘れず、楽しく一生懸命頑張ってください。稚内最高!!

「選手よりもバスケットを理解する必要があります」

- Q まず入部してみて率直な感想をお聞かせください。
- A 学生コーチとして入部したのですが、選手時代より10倍は大変です。
- Q この1年を振り返ってみていかがでしたか？
- A 今までしたことのない新しいことに挑戦することが多かったので大変でしたね(笑)。
- Q 学生コーチとしてどのようなことを意識されていますか？
- A 大学に入るとプレーの強度や知識が格段に上がります。プレーするのは選手ですが選手よりもバスケットを理解する必要がありますので、そのあたりを意識しながら練習に取り組んでいます。
- Q 阿部さんにとって同じ稚内出身の尾崎さんはどのような存在ですか？
- A 家族みたいな存在です。高校は離れましたけど小学生の時から365日ほとんど一緒にいたので落ち着きますね。家族は言い過ぎたかもしれません(笑)。
- Q 今後の抱負をお聞かせください。
- A 関西で1番の学生コーチになれるよう頑張ります。
- Q 最後に稚内の子ども達へメッセージをお願いします。
- A 自分の夢に向かって頑張ってください!



阿部陽斗(大阪学院大学1年)

稚内アルピナミニバス少年団、稚内東中学校、駒大苫小牧高校を経て、昨年の春に大阪学院大学バスケットボール部に学生コーチとして入部。

「バスケットボールに人生を賭けています」



西角柊威(仙台大学1年)

稚内アルピナミニバス少年団、潮見が丘中学校、東海大札幌高校を経て、仙台大学バスケットボール部に入部。ポジションはシューティングガード。

- Q まず入部してみて率直な感想をお聞かせください。
- A 東海大札幌高校より練習が楽だなというのが入部して率直な感想です。仙台大学は体育大学なので体育館がいっぱいあって授業がない時は体育館が朝8時から夜の9時まで使えるのでたくさん自主練習ができて良いところだなと思います。
- Q この1年を振り返ってみていかがでしたか？
- A 自分にとって考えさせられる1年でした。高校とはちがう大学のバスケットで何を武器にして、自分に何が足りないか自己分析ができて良かったです。
- Q バスケットボールで自身が意識されている事はどのようなことですか？
- A 自分は運動神経が周りの人より優れていない為、毎日のシューティングやトレーニングは自分の限界を決めずに時間の限界が来るまで体育館にいるようにしています。毎日の体幹、柔軟、ケアは欠かしていません。
- Q 今後の抱負をお聞かせください。
- A 自分がバスケットを出来ているのは色々な人の支えがあって今の自分がいるので、支えてくれている人や、応援してくれる人に感謝の気持ちを忘れずにバスケットの結果で恩返しが出来るようにしたいです。
- Q 最後に稚内の子ども達へメッセージをお願いします。
- A 自分の好きなことは楽しむことが1番!自分はバスケットが大好きでバスケットに人生を賭けています。失敗しても諦めずどうしたら成功するかを考えて頑張らしましょう!それぞれの夢をお互い叶えられるように頑張りましょう!稚内最高!!